

【中津川市の目指す姿と教育の方針】

「よりよいひとりだち」
生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成

【児童の実態】
・人との関わりを求め、明るく活動できる児童が多い。
・自ら進んで授業や活動に参加することに躊躇する児童も見られる。
・指示がないと行動することに不安をもつ児童もいる。

【教育目標】
豊かな心で学びあい鍛え合う子どもを育てる
～もっとやさしく もっとかしこく もっとねばり強く～

【目指す児童の姿】
・授業や学校の活動に主体的に取り組むことができる児童。
・自分自身の成長や高まりが実感できる児童。
・困難を乗り越えられる社会性と耐性を身に付けた児童。

【目指す学校の姿】
自己肯定感・自己有用感と思いやりの心を醸成し、個と集団が輝く学校
～自ら考え、行動し、自己課題解決能力を身に付けた子の育成～

【重点】	やさしく	かしこく	ねばり強く
	<p>◎子どもたちに居場所がある <u>楽しいと思える「温かい人間関係」の醸成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と学校生活を過ごす中で自然と「ありがとう（感謝）」が言える温かい人間関係づくり ・どの子ども学級の中に位置付けられ、互いを認め合うことができる学級経営 	<p>◎「分かった」「できた」「次もやってみよう」を実感できる <u>授業と活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図的に子どもが考える場をつくり、自分の考えを表出する場の設定 ・授業や各活動に振り返りの場を位置付け、子どもの自己肯定感自己有用感を高める教師の意図的な働きかけ 	<p>◎生徒指導、教育相談、特別支援教育からの子どもへの <u>支援の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初動を大切にし、どの教師も生徒指導、教育相談、特別支援教育のノウハウや知見を深める ・学年、学校体制で情報を共有し、個へのよりよい支援をみんなで考える

【基盤となる姿勢】

◎安心・安全な学び舎づくり

- ・日頃から自他の命を守る学習を充実させるとともに、正しい人権感覚を醸成する指導の充実
- ・危機管理意識を常にもち、子どもの命を第一に考えた視点で学校の環境や子どもの行動を見る

◎戻ってきたくなる職員室を目指し、一体感を大切にしたい職員集団の形成

- ・常にお互いさまの気持ちで、職員も当たり前「ありがとう」が言える職員集団を形成する

【具現のための方途】

指導体制	教科担任制	チーム担任制	
	各教科経営を充実させ、教科の特性に合わせた資質・能力を育成する	各期で目指す学年の姿を共有し、チームで学年を育てる	
教師の指導と三部会の取組			
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会執行部、委員会活動のアイデアを具現する主体的な取組 ・思いやりの心、感謝の心を醸成するための児童、教師による「ほっこり活動」「あいさつ活動」 ・心をつなぎ、育てる合唱の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の意味を理解し、目指す姿を明確にした「話す・聞く」の取組 ・自分の考えを話したくなる教師の意図的な働きかけと指導 ・学習の基礎・基本の定着 ・本を味わい読む力を高める読書 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上に向けた計画的な指導 ・自分の命は自分で守りきるために様々な場面を想定した防災教育の充実 ・役割、方法を理解した清掃活動 ・自分の健康を考えた健康教育
研究推進	自分の考えや思いを表出できる児童の育成 ～児童の思いが溢れ出す授業を通して～ ※これまでの算数科の研究をベースにした資質・能力を育てる教科研究 ・思考力を育て、自分の考えや思いを表出できる児童の育成 →主体的な学びを生みだし、考えを深めるための指導計画、指導方法の追究		
	コミュニティ・スクールの活用と推進(学校運営協議会)		
	一人一人の児童と学年・学級集団を支えるための組織		
	「みんなで担う」体制づくりへ ①運営体制強化②支援体制拡充③学校課題対応 地域に根差したふるさと教育の推進		
	・総合支援委員会 ・校内教育支援委員会 ・子ども研 ・いじめ防止対策委員会 ・研究職員会 ・学年主任会		